

令和7年度 全国学力・学習状況調査の概要及び結果

高槻市教育委員会

令和7年9月

① 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

② 調査の概要

○実施日：令和7年4月17日（木）※中学校理科は、4月14日～17日の期間内で指定日に実施
○実施校数・実施児童生徒数

小学校：41校（6年生）・2,664人 中学校：18校（3年生）・2,563人

○学力に関する調査

小学校：国語・算数・理科

中学校：国語・数学・理科

○学習や生活の状況・学校の取組に関する調査

児童生徒質問紙調査・学校質問紙調査

③ 調査結果の取扱い

本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないよう十分配慮をお願いします。

調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要と考えます。

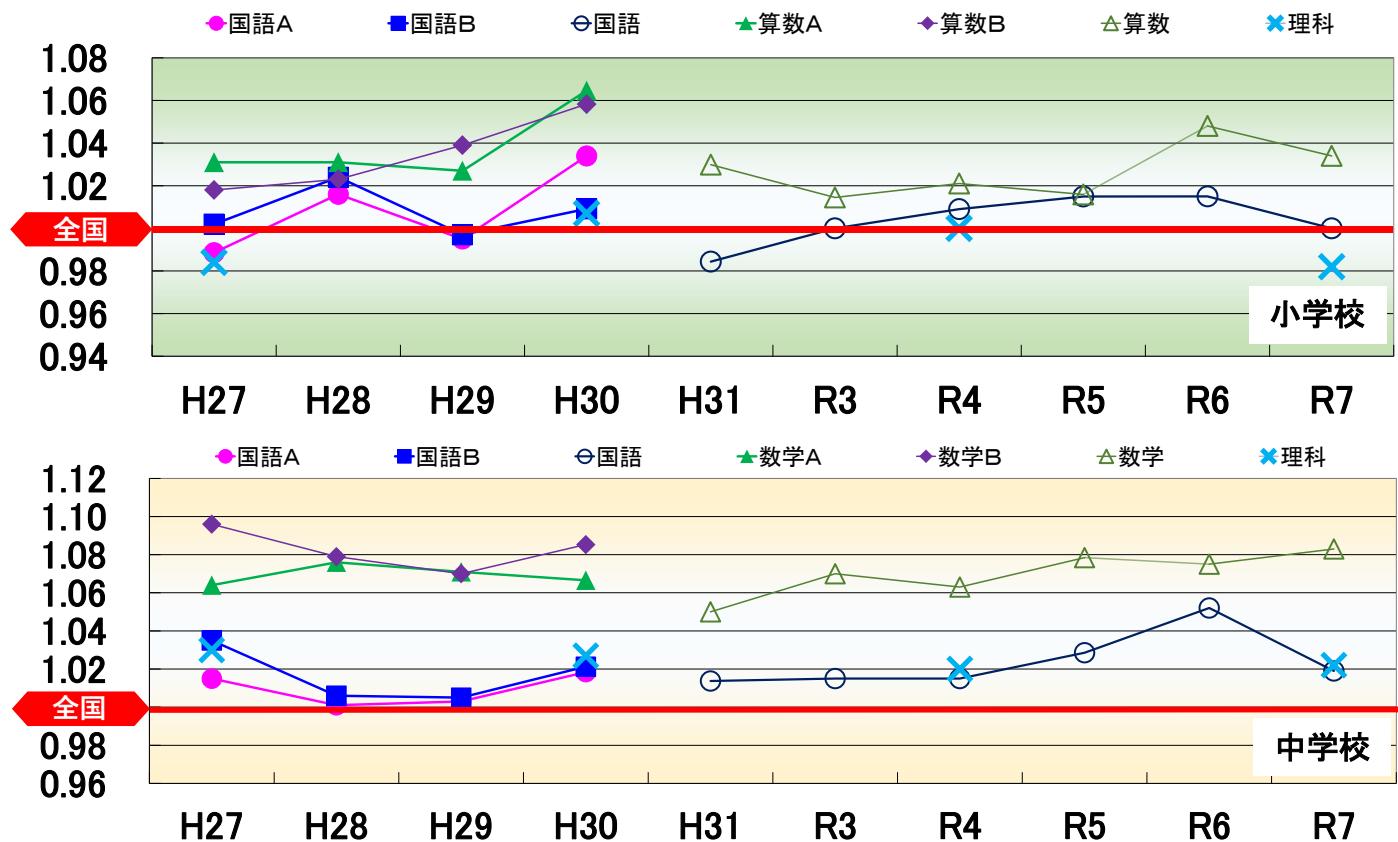
なお、文部科学省では市町村や都道府県の平均正答率を整数で発表することとなっており、本市でも平成31年度より整数での公表としました。

④ 校種・教科別正答率（大阪府および全国との比較）

教科	高槻市	大阪府	全国	差（対大阪）	差（対全国）
小学校 国語	67	65	67	2	0
小学校 算数	60	58	58	2	2
小学校 理科	56	55	57	1	-1
中学校 国語	55	52	54	3	1
中学校 数学	52	47	48	5	4
中学校 理科	514*	487*	503*	27	11

*中学校理科については、IRTスコアを表示。IRTの詳細については2ページに記載。

⑤ 経年比較（全国比 H27-R7）



⑥ 中学校理科の調査結果について

● 「IRT」を用いた調査について

今年度、中学校理科は1人1台端末を用いて実施し、「IRT」に基づき算出したスコアにより結果を表示しています。「IRT」とは、「項目反応理論」といって、生徒の正答・誤答が問題の特性によるものか、生徒の学力によるものかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定する統計理論のことです。

生徒1人あたり、公開問題10問と非公開問題16問を出題しています。公開問題には、全日程に共通する問題と実施日別の問題があります。非公開問題は幅広い内容・難易度等から出題され、生徒ごとに異なる問題を解いています。

● 学校や自治体ごとの結果について

学校や自治体ごとの結果については、全国平均およそ500を基準とした「IRTスコア」で表示しています。次回以降の結果も、令和7年度調査の全国平均およそ500を基準として算出するため、経年比較を行うことができます。

● 生徒個人の結果について

生徒個人の結果は、5段階の「IRTバンド」で表示されます。「IRTバンド」は「IRTスコア」を1~5の5段階で区切ったもので、3を基準とし、5が最も高いバンドとなります。

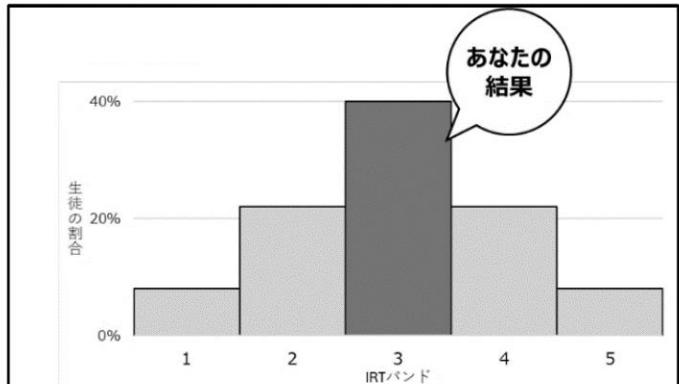
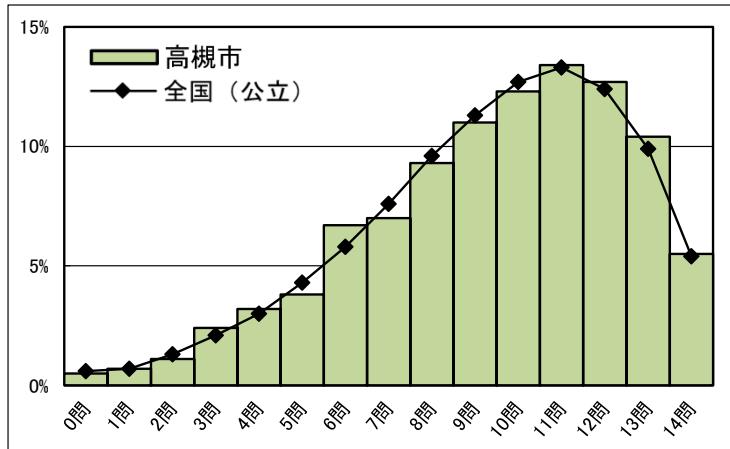


図. 全国の状況の例

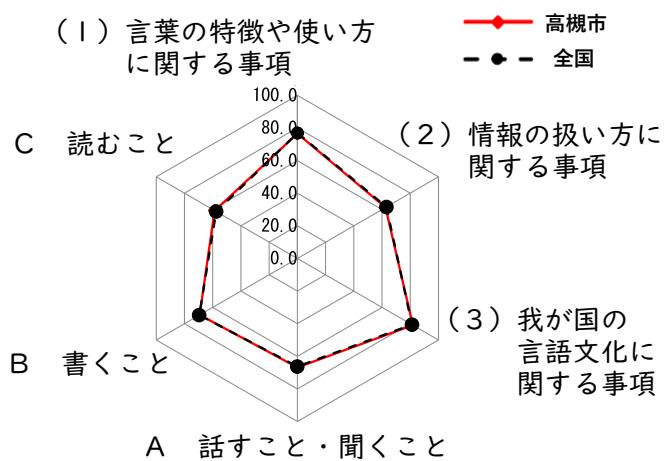
R7 全国学力・学習状況調査 分析 小学校 国語

	平均正答数	平均正答率(%)	平均無解答率 (%)
高槻市	9.4 問/14 問	67	3.4
全国	9.4 問/14 問	67	3.3

1. 正答数分布グラフ



2. 学習指導要領の内容別正答率



3. 成果が見られた設問 [2] 二]

(1) 問題の概要

伝統工芸品について推薦するちらしを書く場面において、山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択します。

(2) 成果

手ぬぐいの模様について、読み手が内容を具体的に理解できるように、言葉だけではなく図を用いた書き表し方の工夫を捉えることができています。

4. 課題が見られた設問 [3] 三 (2)]

(1) 問題の概要

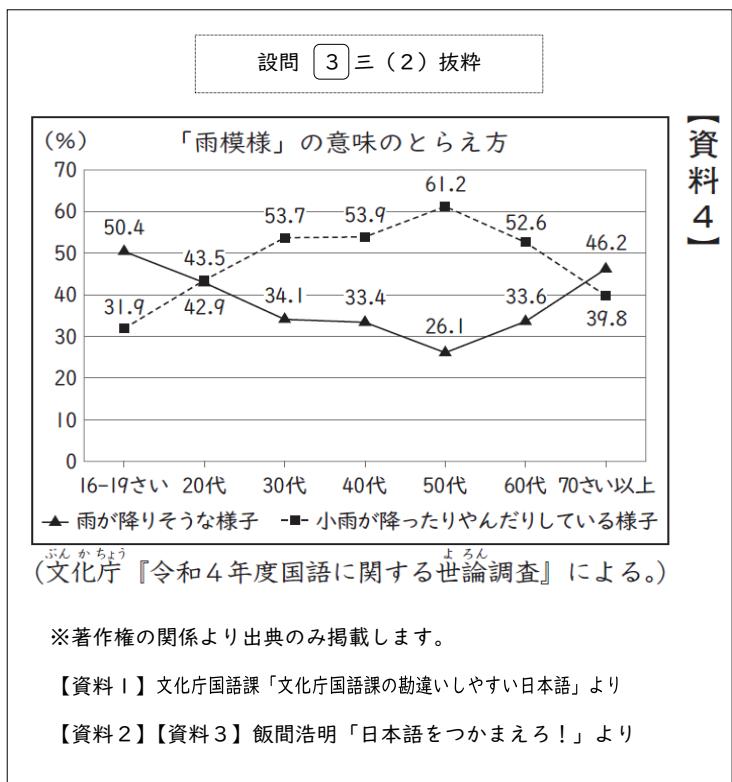
言葉の変化について学ぶ場面において、【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く問題です。

(2) 課題

文章と図表を結び付けるなどして、目的に応じて、複数の図表から情報と情報を結び付けたり、必要な情報を見付け書くことに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

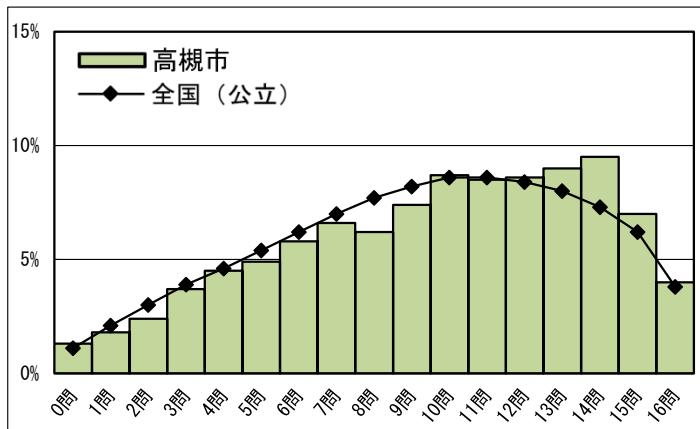
日常の授業において、目的や意図に応じた観点を設け、比較、分類、関係付けたりしながら考えをまとめることが大切です。また、文章から引用したり、図表やグラフを用いたりして自分の考えがより伝わるよう書き表し方を工夫することも重要です。



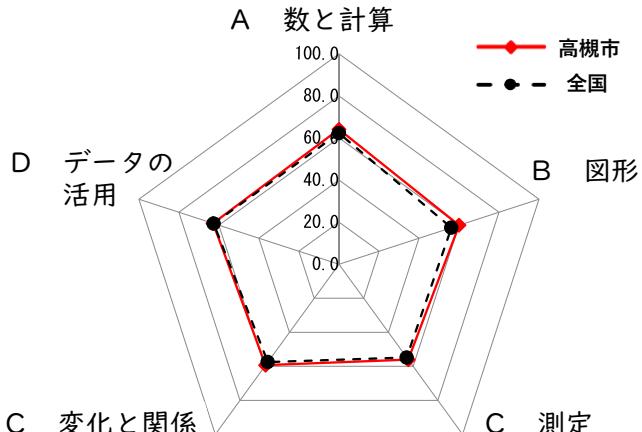
R7 全国学力・学習状況調査 分析 小学校 算数

	平均正答数	平均正答率(%)	平均無解答率(%)
高槻市	9.6 問/16 問	60	3.7
全国	9.3 問/16 問	58	3.6

1. 正答数分布グラフ



2. 学習指導要領の領域別正答率



3. 成果が見られた設問 [4 (1)]

(1) 問題の概要

新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を選びます。

(2) 成果

伴って変わるべき二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができています。

4. 課題が見られた設問 [1 (2)]

(1) 問題の概要

都道府県Aのブロックコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、その理由を書きます。

(2) 課題

適切なグラフを選択することはできていますが、グラフ3における都道府県Aの2013年と2023年のブロックコリーの出荷量を比較し導いた結論について、根拠となる数に着目し論理的に表現することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

授業の中で、論理的に考え、それを説明したり、判断や考えの正しさを説明したりする機会を設けることが大切です。また、ある事柄が成り立つ理由や判断の理由を記述する際には、「AだからBとなる」のように、Aという理由やBという結論を明確に示すことが重要です。

設問 1 (2)

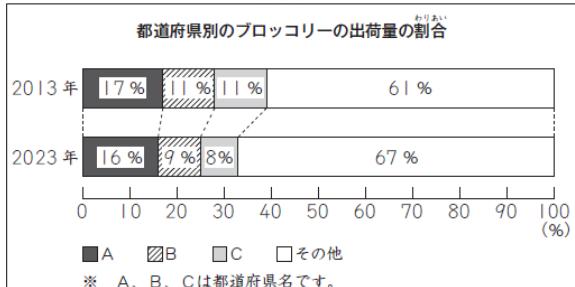
2023年の都道府県Aのブロックコリーの出荷量が、2013年より増えたかどうかを、下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかがわかるようにしましょう。

ア 2023年は2013年より増えた。

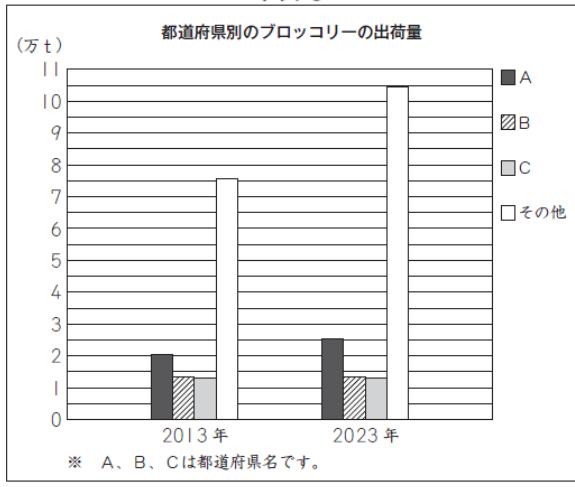
イ 2023年は2013年より減った。

グラフ2



(作物統計調査による。)

グラフ3

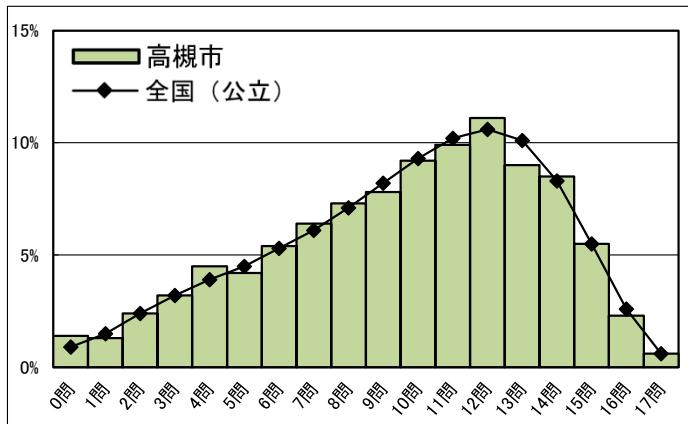


(作物統計調査による。)

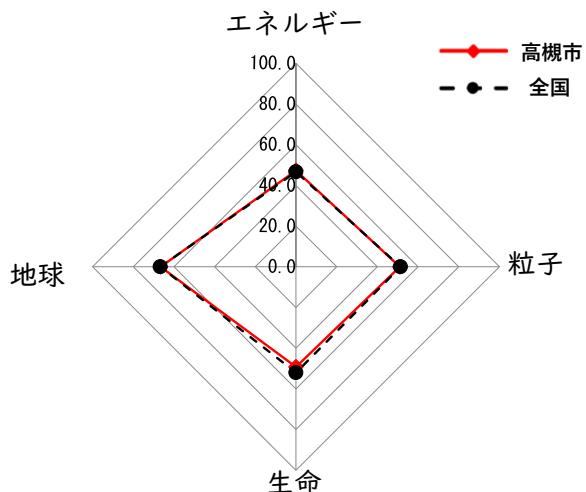
R7 全国学力・学習状況調査 分析 小学校 理科

	平均正答数	平均正答率(%)	平均無解答率 (%)
高槻市	9.6 問/17 問	56	3.2
全国	9.7 問/17 問	57	2.8

1. 正答数分布グラフ



2. 学習指導要領の領域別正答率



3. 成果が見られた設問 [1 (2)]

(1) 問題の概要

赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、実験の【結果】を用いて書きます。

(2) 成果

赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】を基に結論を導いた理由を表現することができます。

4. 課題が見られた設問 [2 (1)]

(1) 問題の概要

アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選びます。

(2) 課題

身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることなど、基本的な知識の定着に課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

単に知識の暗記ではなく、自然の事物・現象と知識を関係付けながら理解を深めることが重要です。「磁石の性質」と「電気の通り道」の実験において、「磁石とくっついた」「電気が通った」だけで終わることがないように注意が必要です。例えば、鉄、アルミニウム、ガラス、木など、同じ対象物を用いて学習することが多いので、それぞれの内容で習得した知識を対象物ごとに整理し、まとめるなどして、物質の性質について理解を深めるよう工夫することが考えられます。

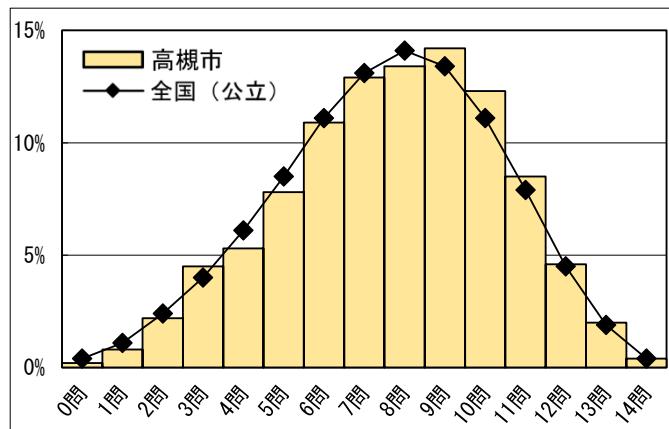
設問 2 (1) (抜粋)

- (1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までのなかからそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。
- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
 - 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
 - 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
 - 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

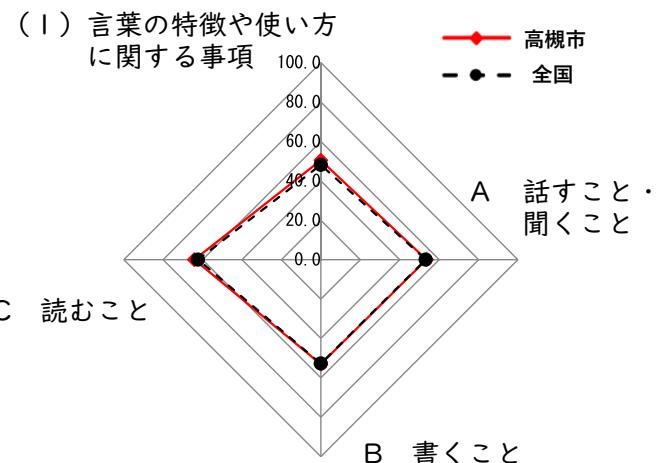
R7 全国学力・学習状況調査 分析 中学校 国語

	平均正答数	平均正答率(%)	平均無解答率 (%)
高槻市	7.7 問/14 問	55	6.1
全国	7.6 問/14 問	54	6.7

1. 正答数分布グラフ



2. 学習指導要領の内容別正答率



2. 成果が見られた設問 [3] 二]

(1) 問題の概要

「兄」と「弟」が物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書きます。

(2) 成果

文学的な文章を読む場面において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができています。

3. 課題が見られた設問 [2] 四]

(1) 問題の概要

発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書きます。

(2) 課題

資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

「話すこと・聞くこと」の学習においては、話の内容だけでなく、話の構成や論理の展開、資料や機器の活用など

表現の仕方を工夫することが大切です。また、話し手の表現の良い点を、自分の表現に取り入れる視点をもって聞くことも効果的です。

設問 [2] 四 (抜粋)

四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の [] の内容をより分かりやすく伝えるために、〈スライド⑤〉を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでのなかから1つ選び(どの【工夫の仕方】を選んでもかまいません。)、条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間を書き加えたりしてもかまいません。

【村田さんのスピーチ】の []
今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

〈スライド⑤〉
「つなごうマリープロジェクト」

【工夫の仕方】

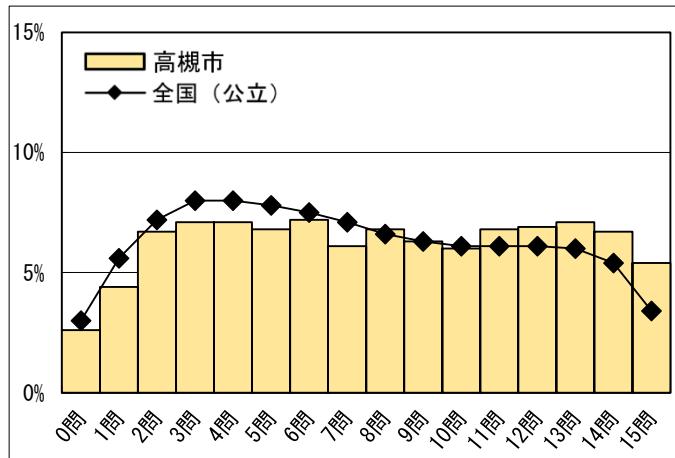
A 〈スライド⑤〉に、言葉を加える。
B 〈スライド⑤〉のイラストを修正したり、イラストを付け加えたりする。
C AとBとを組み合わせる。

条件1 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを、具体的に書くこと。
条件2 条件1で工夫したことにより、どのようにわかりやすくなるかについて、[] の内容を具体的に取り上げて書くこと。

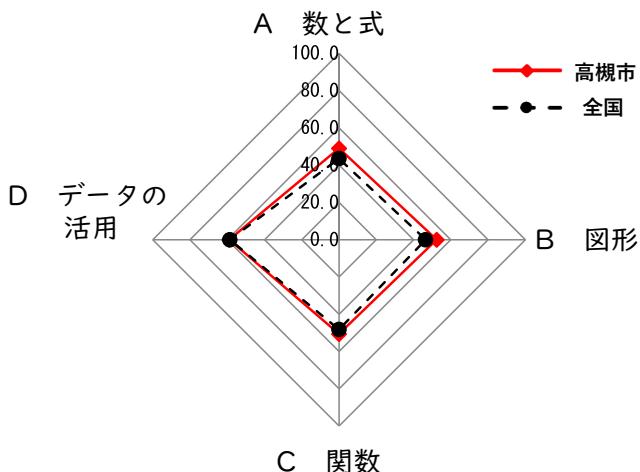
R7 全国学力・学習状況調査 分析
中学校 数学

	平均正答数	平均正答率(%)	平均無解答率 (%)
高槻市	7.8問/15問	52	10.1
全国	7.2問/15問	48	10.6

1. 正答数分布グラフ



2. 学習指導要領の領域別正答率



3. 成果が見られた設問 [7] (1)

(1) 問題の概要

A の手元のカードが3枚とも「グー」、B の手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にA が勝つ確率を書きます。

(2) 成果

事柄の確率について、求めることができます。

4. 課題が見られた設問 [8] (2)

(1) 問題の概要

A 駅から 60.0km 地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明します。

(2) 課題

答えを求める方法を、数学の用語や記号を用いたり、他者に伝わる表現を用いたりして、説明することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

論理的に説明する力を持つには、授業で説明する機会を計画的に取り入れることが重要です。その際、他者の異なる説明と比較し自分の表現をより高めていく機会を設けることが、論理的に説明する力を伸ばす上で効果的です。

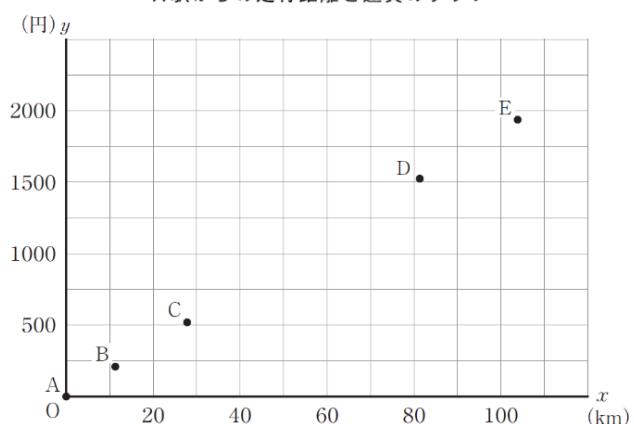
設問 [8] (2) (抜粋)

A駅の近くに住んでいる歩夢さんは、C駅とD駅の間にあるスタジアムによく行きます。歩夢さんは、スタジアムの近くに新しい駅をつくる計画があることを知り、A駅から新しい駅までの運賃がいくらになるか気になりました。そこで、A駅からの走行距離と運賃をインターネットで調べ、次のような表にまとめました。

調べた結果

	A駅	B駅	C駅	D駅	E駅
A駅からの走行距離(km)	0.0	11.4	27.7	81.9	104.6
A駅からの運賃(円)	0	210	510	1520	1930

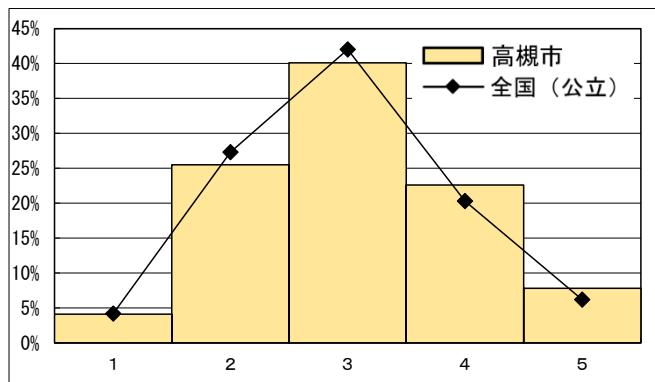
A駅からの走行距離と運賃のグラフ



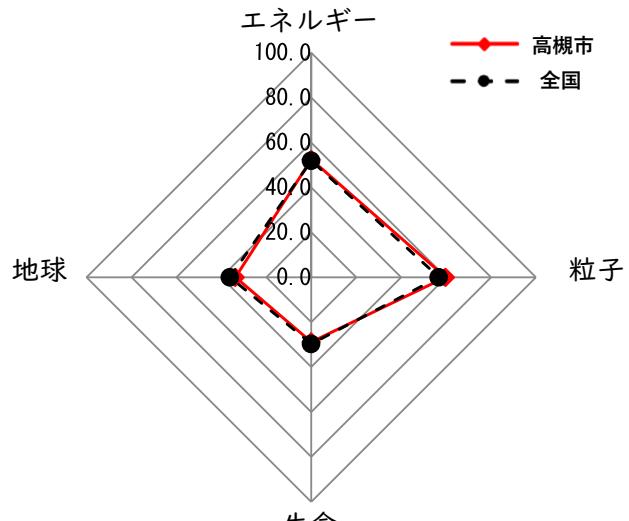
R7 全国学力・学習状況調査 分析
中学校 理科

	全日程共通の公開問題における		IRT スコア
	平均正答数	平均無解答率	
高槻市	2.9 問/6 問	4.3%	514
全国	2.9 問/6 問	4.6%	503

1. IRT バンド分布グラフ（横軸：IRT バンド、縦軸：割合）



2. 学習指導要領の領域別正答率



3. 成果が見られた設問 [1 (6)]

(1) 問題の概要

水道水と精製水に関する2人の発表を見て、分かったことや考えが変化したことなど着目したことを明確にして記述します。

(2) 成果

水道水と精製水に関する2人の発表を参考に、新たに疑問に感じたことや調べてみたいことや身近な生活との関連などについて学習の振り返りを記述することができます。

4. 課題が見られた設問 [1 (4)]

(1) 問題の概要

生物1から生物4までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択します。

(2) 課題

動きの少ないミカヅキモなどは呼吸をしていない生物であると誤って捉えていることが課題として見られます。

(3) 授業改善のポイント

植物も動物と同様に、生きるために常に呼吸をしています。動物の「呼吸」や植物の「呼吸」にどういう働きがあるのか、生命を維持する働きと関連付けて学習することが大切です。

設問 1 (4) (抜粋)

下のように4種類の生物が観察できました。

観察した様子を見ましょう。



生物1



生物2



生物3



生物4

生物2、生物4の動画 出典 茨城県霞ヶ浦環境科学センター

(4) 呼吸を行う生物をすべて選びなさい。なお、生物1から4のすべてを選んでもかまいません。



生物1



生物2



生物3



生物4

児童生徒に対するアンケートの結果

◆児童生徒に対する質問紙調査について

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査を実施

◆本年度の主な調査項目

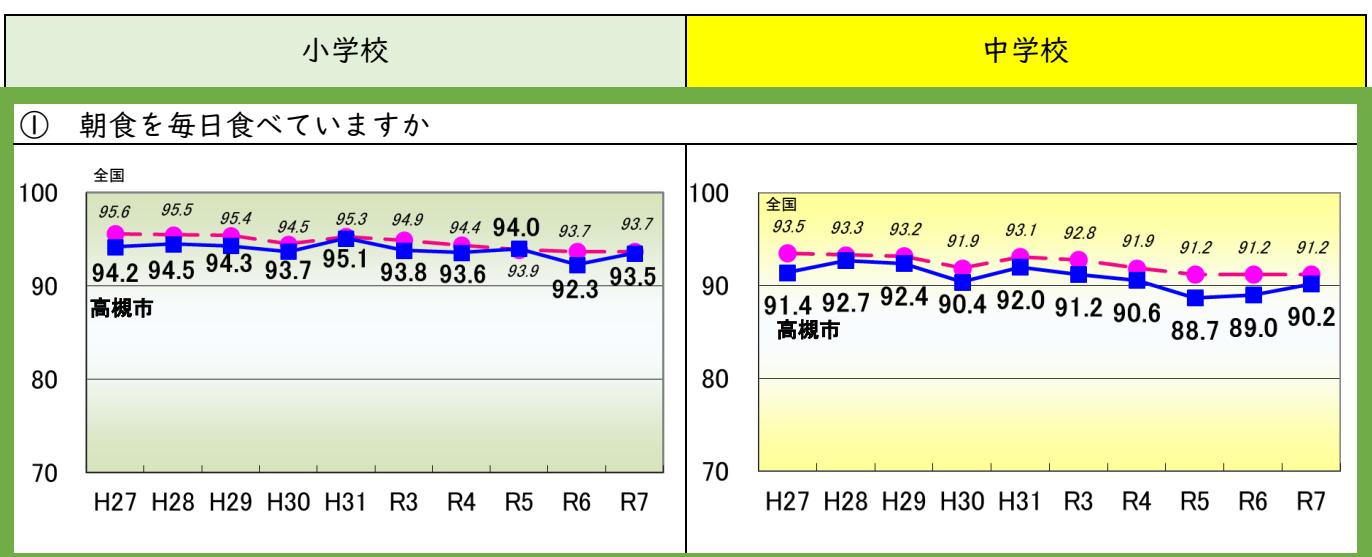
- ・基本的生活習慣等
- ・挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等
- ・学習習慣、学習環境等
- ・地域や社会に関わる活動の状況等
- ・I C T を活用した学習状況
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ・総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳
- ・学習に対する興味・関心や授業の理解度等
- ・各教科に関する調査の解答状況

*質問紙調査での「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」などを肯定的回答とし、それらを合わせた数値を経年比較しています。

*質問項目が変更された、もしくは新しく加わった質問項目については、空欄の含まれたグラフとなっています。

*高槻市の施策と関連が深い質問項目について、紹介しています。

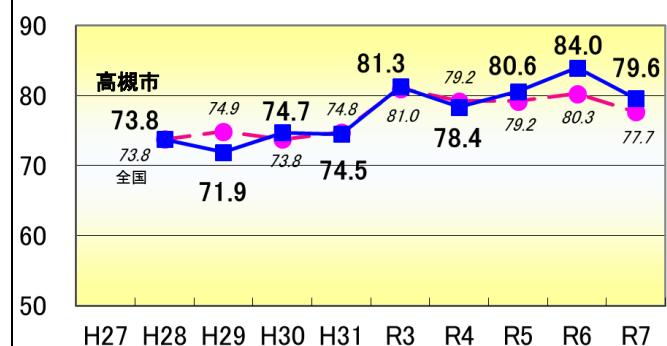
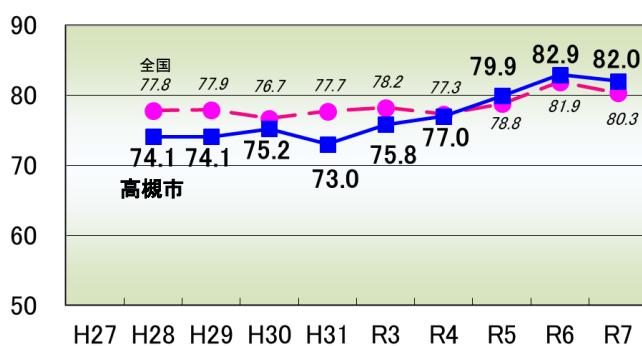
第2期高槻市教育振興基本計画にあります、つけたい4つの力
「たかめる力」「かんがえる力」「つながる力」「きりひらく力」
の順に、経年比較で示しています。



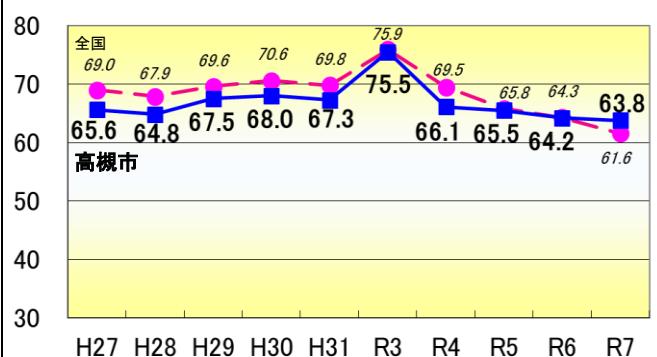
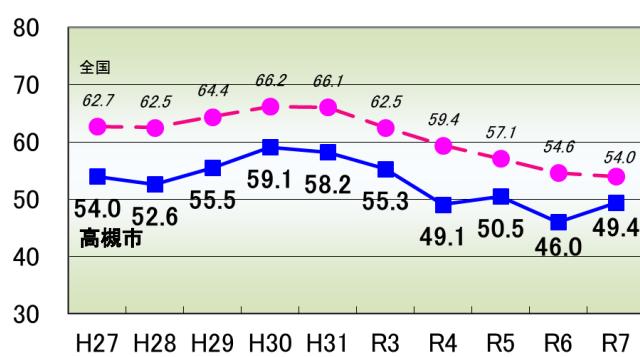
小学校

中学校

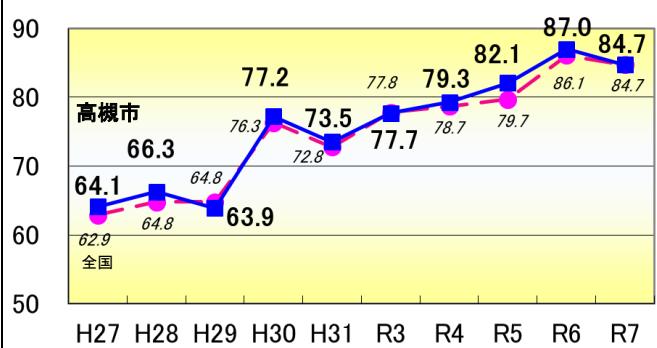
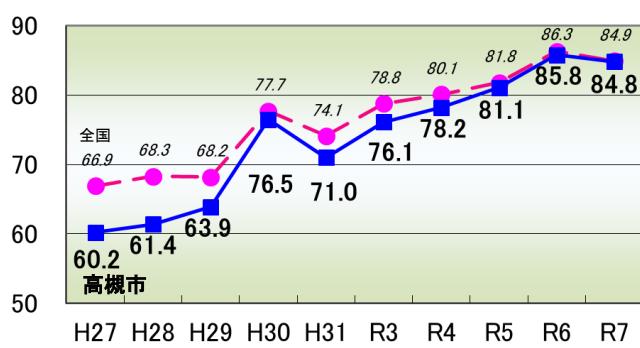
- ① 5年生まで（中学生は中1、中2）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（H29までは「先生から示される課題や学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え自分から取り組んでいたと思いますか」）



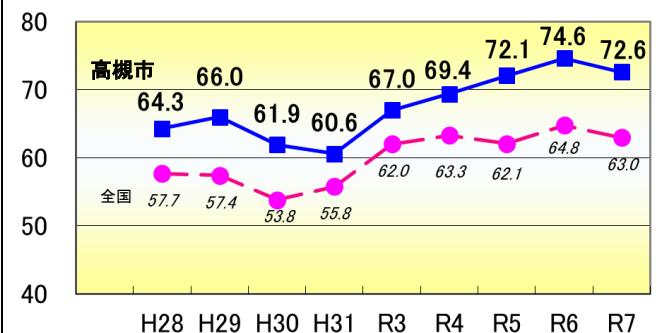
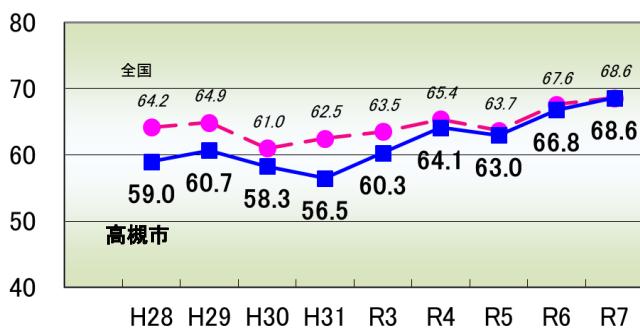
- ② 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上の割合）



- ③ 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか（R5までは「～自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか」）



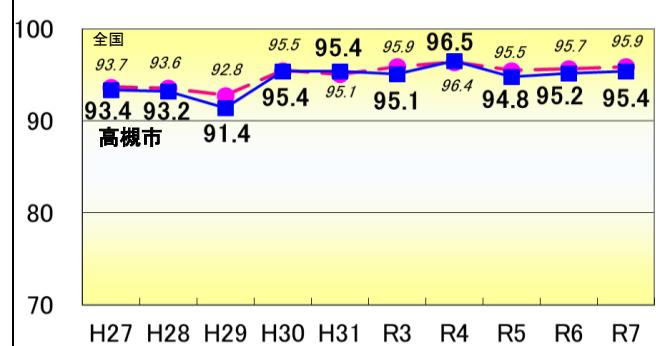
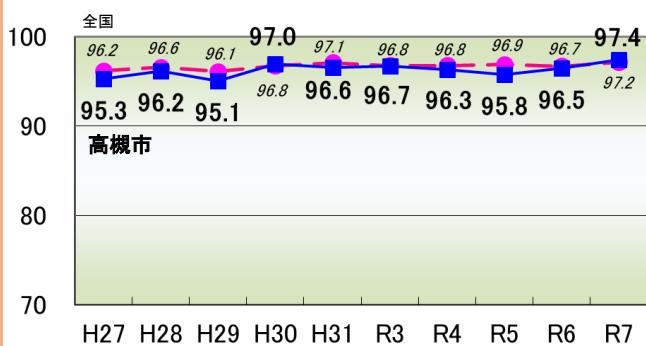
- ④ 5年生まで（中学生は中1、中2）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



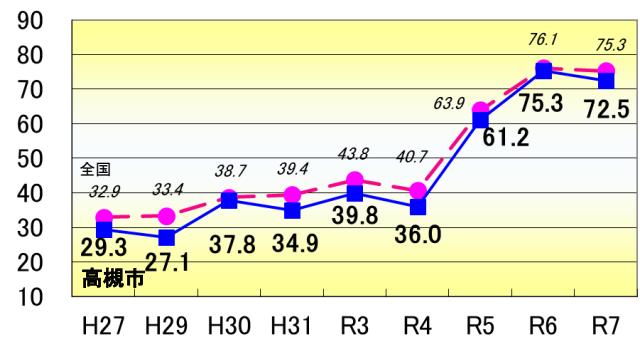
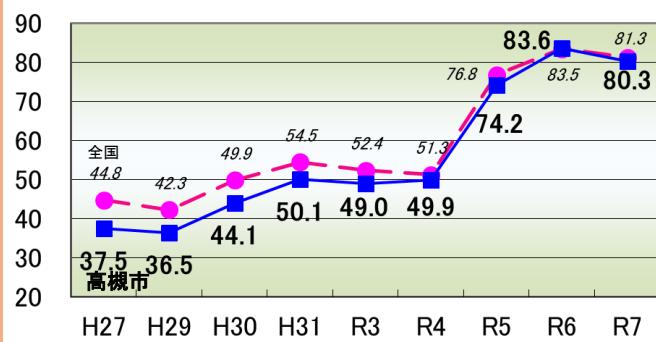
小学校

中学校

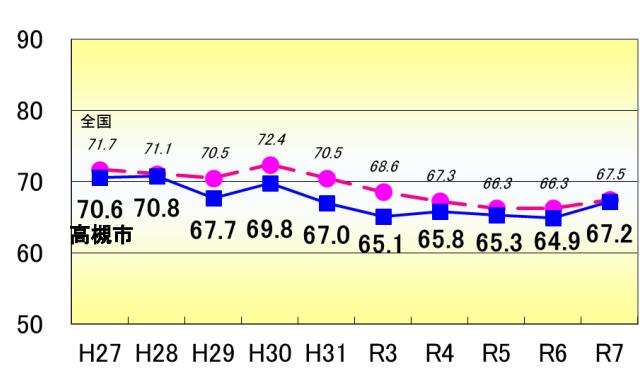
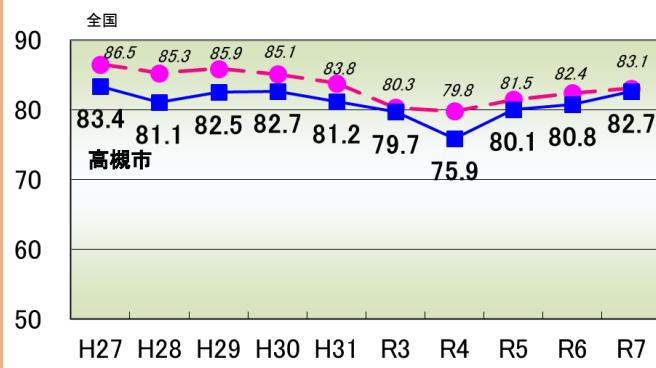
① いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



② 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか (R4までは「~何をすべきか考えることはありますか」)



① 将来の夢や目標を持っていますか



② 5年生まで（中学生は中1、中2）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか（週1回以上の割合）

